

問い合わせ先

第七管区海上保安本部

海洋情報部海洋調査課長 今木

093-321-2931 (内線 2530)



第七管区海上保安本部

平成27年5月28日

## 離岸流の調査を実施します

～ 楽しく安全なマリレジャーのために ～

第七管区海上保安本部では、海水浴等のマリレジャーを安全に楽しんでいただくため、下記のとおり山口県下関市(角島)の海水浴場において離岸流の調査を実施します。

今回の調査で得られた離岸流に関するデータは、第七管区海上保安本部のホームページで公表するほか、離岸流の発生しやすい状況、離岸流で流された時の対処法について周知啓発を行い、マリレジャーを楽しまれる方々の海浜事故防止に役立てて参ります。

「離岸流」とは

離岸流は岸から沖へ向かって流れる海水の流れのことで、その流速は毎秒2mに達する場合があります。(毎秒2mはオリンピックの水泳自由形金メダリストが泳ぐ早さとほぼ同じです)

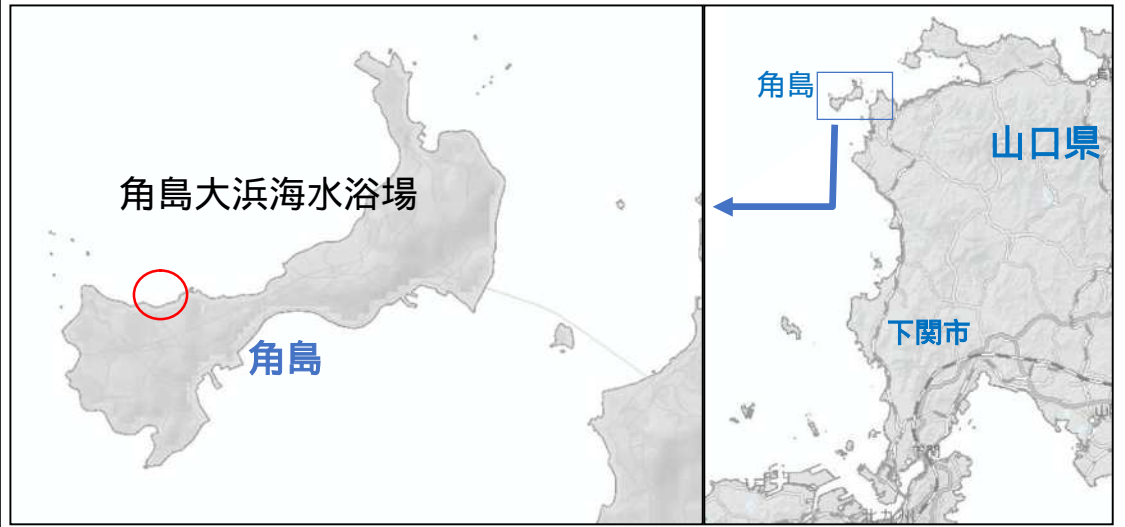
調査日時 平成27年6月16日(火)から6月18日(木)の日中

調査場所 山口県下関市 角島内の大浜海水浴場(調査区域図参照)

調査内容 「シーマーカー」と呼ばれる着色剤を調査場所の海岸から散布し、沖に流れる様子を海岸、高台または福岡航空基地所属航空機から撮影する予定です。

取材対応 取材を申し込まれる場合は、お手数ですが第七管区海上保安本部 広報・地域連携室(TEL093-321-2931(内線2117又は2118))まで連絡をお願いします。

## 調査区域図（角島：山口県下関市）



## 過去調査時の状況

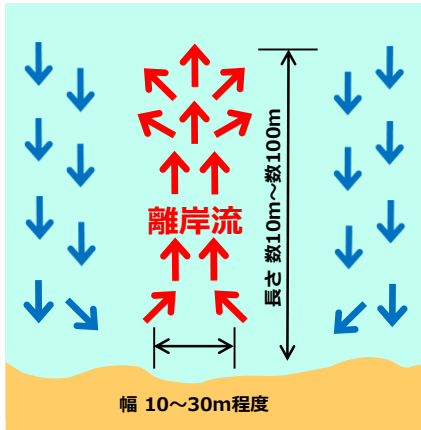
(海岸から散布した着色剤が沖に流れていく状況がわかります)



## 離岸流による海浜事故防止

### 離岸流とは・・・

波は沖から海岸へ打ち寄せますが、打ち寄せられた海水は、どこからか沖に戻ろうとします。この時に沖に向かって発生する強い流れを「離岸流」と呼びます。離岸流に流されると、どんどん沖まで流されてしまいます。



### 離岸流の発生規模

1. 幅は10m～30m程度
2. 沖への長さは数10m～数100m
3. 離岸流の速さは、約2m/sec になることもある。  
(オリンピックの水泳選手でも逆らって泳ぐことが難しい程の流れ)

### 離岸流の発生しやすいところ

- 海岸が外洋に面しているところ
- 遠浅で、海岸線が長いところ
- 波が海岸に対して直角に入る海岸
- 近くに人工構造物があるところ



## 海浜事故防止のための離岸流調査

海浜事故の原因のひとつと考えられている離岸流については、遊泳者が多く、離岸流が発生しやすい管内海水浴場において実施しています。

### ◆ 調査手法

シーマーカー（着色剤）を海岸より漂流させ、ビデオカメラ等で撮影して広域的に流れの状況を確認します。

※これまでの管内調査箇所

- H23：杵岐島（筒城浜、清石浜）
- H24：唐津湾（東の浜、浜崎）及び福岡県芦屋町
- H25：唐津湾（配崎付近）
- H26：福江島（高浜、頓泊、香珠子）



離岸流調査状況（H26.6.26）



